

期間：令和3年 8月21日・22日・28日・9月4日・5日の全5回
 定員：50名を募集
 費用：10,000円（学生5,000円）
 講師：新潟県内で活躍する防災専門家、実務担当者、市民活動団体の方々
 会場：①長岡震災アーカイブセンターきおくみらい（長岡市大手通2-6）
 ②ながおか市民防災センター（長岡市千歳1-3-85）
 ③中越メモリアル回廊 各施設（そなえ館・きずな館・おらたる）
 ④長岡市消防本部

申込：インターネット（スマホ、パソコン）用の申込み
 フォーム（右記QRコード）よりアクセスしてお申込み
 または、下記に必要事項ご記入の上 FAX にて
 お申し込みください。



【ご注意】 電話でのお申し込みはできません

申込用QRコード・PC用URL
<https://ws.formzu.net/fgen/S69447748/>
 インターネット申込（スマホ・PC）共通

FAX 申込用 記入欄 [FAX 0258-39-5526]

フリガナ お名前		性別	男性・女性
ご住所		年齢	
電話番号		職業	
Eメール	@		

募集期間：令和3年7月1日（木）～令和3年7月31日（土）締切

※1講座につき2単位取得可能、全40単位中28単位以上の取得で卒業認定されます。
 ※欠席した講座はDVDでの受講後、レポート提出で1単位取得できます。
 ※①きおくみらいには専用駐車場がありません。近隣の駐車場をご利用ください。
 ※②ながおか市民防災センター及び長岡市消防本部周辺は無料駐車場がございます。
 ※講座プログラム、受講会場は都合により変更となる場合があります。



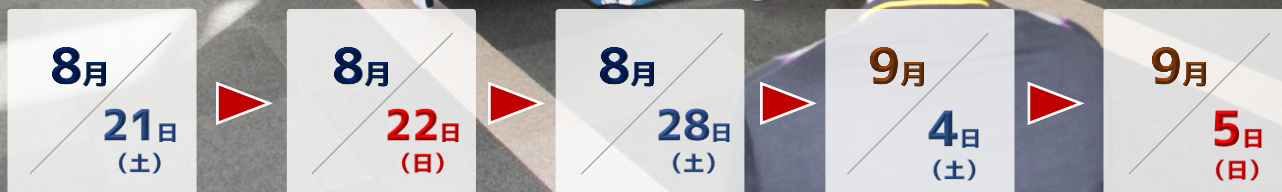
長岡市オリジナルキャラクター「ポーサイダー」

■お申込み・お問合わせ先
 主催者：公益社団法人 中越防災安全推進機構
 〒940-0062
 長岡市大手通2-6フェニックス大手イースト2F
 長岡震災アーカイブセンター きおくみらい
 TEL:0258-39-5525 FAX:0258-39-5526
 e-mail kiokumirai@cosss.jp
 共催：長岡市（危機管理防災本部）

令和3年度・第16期 中越市民防災安全大学 受講生募集



講座期間は参加容易な5日間、全20講座を予定



新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るう中、地震災害をはじめ、風水害、雪害、土砂災害など、災害は時と場所を選ばず発生し、市民一人ひとりの「備え」への重要性は日々高まっています。中越市民防災安全大学では、専門的な知識や技術を習得し災害時に役立つ様々なノウハウを学び、防災に関わる人材の裾野を広げ、地域の防災活動や災害時に活躍できる人材を育成することを目的としています。

16期を迎える今期も、コロナ禍に配慮しつつ、参加が容易な5日間の日程で、十分な感染症対策を施して開講します。

中越市民防災安全大学を受講・卒業すると…

- ◆安全大学の卒業生には「中越市民防災安全士」認定証が交付されます。
 - ◆卒業生でつくる「中越市民防災安全士会」に入会できます。
 - ◆安全士のネットワークを形成しながら、活躍の場が広がります。
- ◆安全士会では、地域の防災訓練などでの防災啓発活動、応急手当やAEDの講習、講演会へのスタッフ派遣、市民・会員に向けた情報発信、研修・イベントなどを企画しています。
- ◆安全大学を受講することにより全国的にも注目される「防災士」の受験資格が得られます。

(防災士資格取得試験に必要な教本代、受験料、登録料は各自のご負担となります)

令和3年度・第16期「中越市民防災安全大学」カリキュラム

日程・会場			テーマ・講師	講座	内容
第1日 8/21 (土)	9:00-10:30	長岡震災アーカイブセンター きおくみらい ホール	オリエンテーション・講話	中越防災安全推進機構 諸橋 和行 中越市民防災安全士会 岸 和義	1 開校挨拶・オリエンテーション 中越市民防災安全大学への期待
	10:40-12:10	長岡震災アーカイブセンター きおくみらい ホール	地域防災の取り組み	青山町自主防災会 岸 和義 青葉台3丁目自主防災会運営委員 神田 英一郎	2 自主防災会による地域防災活動の実践
	13:10-14:40	長岡震災アーカイブセンター きおくみらい ホール	令和時代の防災	長岡技術科学大学 上村 靖司	3 近年の災害への取り組み、これらの防災のあり方
	14:50-16:20	長岡震災アーカイブセンター きおくみらい ホール	地域の復興とは ～中越地震から17年～	中越防災安全推進機構 稲垣 文彦	4 被災地の復興・再生とこれからの地域づくり
第2日 8/22 (日)	9:00-10:30	ながおか市民防災センター 2階研修室	コロナ禍の災害対応	新潟大学 田村 圭子	5 危機管理の視点から考えるコロナ禍での災害対応
	10:40-12:10	ながおか市民防災センター 2階研修室	原子力・放射線の性質と「もしもの時」の備え方	東京大学 村上 健太	6 放射線とは何か、原子力の緊急時対応の基本
	13:10-14:40	ながおか市民防災センター 2階研修室	河川防災・水難救助学	長岡技術科学大学 斎藤 秀俊	7 洪水、津波など水の災害から命を守るための考え方や行動
	14:50-16:20	ながおか市民防災センター 2階研修室	災害現場と支援活動・災害ボランティア	中越防災安全推進機構 野村 卓也	8 災害現場での支援活動に求められること
第3日 8/28 (土)	9:00集合・出発	—	(バス移動・ながおか市民防災センター前での集合、乗車及び解散)		
	9:50-11:00	おぢや震災ミュージアムそなえ館	(そなえ館) 施設見学	おぢや震災ミュージアム そなえ館	9 中越地震の経験と身近でできる防災対策
	11:30-12:00	やまこし復興交流館おらたる	(おらたる) 施設見学	やまこし復興交流館 おらたる	10 山古志の復興までの歩み
	12:00-13:00		昼食 (災害食体験)	地域防災講座インストラクター 中越防災フロンティア	11 中越地震時の山古志の体験談、 非常時に役立つバッククッキング体験、試食
	13:00-14:00	山古志地域	山古志地域視察	中越防災フロンティア	10 山古志の被災状況や復興現場
	14:30-15:30	川口きずな館	(川口きずな館) 地域のコミュニケーション	くらしサポート越後川口	12 災害に強い地域づくりに欠かせない地域のコミュニケーションとは
第4日 9/4 (土)	9:00-10:30	ながおか市民防災センター 2階研修室	水害・土砂災害の実例から学ぶ傾向と防災対策	新潟大学 卜部 厚志	13 水害、土砂災害のメカニズムと実態から学ぶ防災対策の教訓
	10:40-12:10	ながおか市民防災センター 2階研修室	豪雨災害時の情報伝達とマイタイムライン	株式会社エコロジーサイエンス 樋口 勲	14 災害を想定した気象情報とマイタイムラインづくりの実習
	13:10-14:40	ながおか市民防災センター 2階研修室	避難所運営シミュレーション「さすけなぶる」 基礎編	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 北村 育美	15 避難所・避難者に必要とされる支援の在り方とは
	14:50-16:20	ながおか市民防災センター 2階研修室	避難所運営シミュレーション「さすけなぶる」 実践編	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 北村 育美	16 グループワークから避難所運営で不可欠な視点を学ぶ
第5日 9/5 (日)	9:00-12:00	長岡市消防本部 4階研修室	普通救命講習	長岡市消防本部 救急係	17 心肺蘇生法/AED使用法/ほか (防災士試験受講資格・必修講座)
	13:00-13:50	ながおか市民防災センター 2階研修室	長岡市の原子力防災	長岡市 原子力安全対策室	18 長岡市の原子力安全対策について
	14:00-14:50	ながおか市民防災センター 2階研修室	ほんねぼうさい	中越防災安全推進機構 諸橋 和行	19 これまでの防災の違和感から考えるこれからの防災
	15:00-15:50	ながおか市民防災センター 2階研修室	講話・卒業式	長岡市 危機管理防災本部 中越防災安全推進機構	20 卒業生への期待、講座振り返り・修了証授与
	16:00-17:00	ながおか市民防災センター 2階研修室	防災士試験 (申込希望者のみ)	日本防災士機構	防災士試験ガイダンス 防災士資格取得試験

※本カリキュラムは予定であり、断りなく内容が変更される場合があります。
 ※災害の発生、感染症の影響等で講座が予定通り実施できない場合はその都度ホームページ等でお知らせします。